

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	住宅販売会社（従業員）	・昨年同様、住宅ローン減税の期限に合わせて受注が増える見通しである。
	やや良くなる	スーパー（店長）	・今年は春の訪れが早く、既に春物、夏物の動きが良い。B S E、鳥インフルエンザ等の影響で食肉の売上が低迷しているが、それ以外の商品は良い方向に流れている。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の動き、客単価の動きから、少しずつ客がお金を使うようになってきている。 ・付加価値の高い商品には、出費を惜しまなくなってきている。
		家電量販店（店長）	・アテネオリンピックが開催されることから、オリンピック効果が見込める。
		一般レストラン（経営者）	・売上は前月と大差はないが、宴会・予約の問い合わせが徐々に増えている。
		旅行代理店（従業員）	・景気に回復の兆しがあり、4月以降の団体旅行の相談、契約も出てきている。
		通信会社（企画担当）	・新商品のラインナップが出そろうため、やや良くなる。
		観光名所（経営者）	・昨年は4月の統一地方選挙、5月にはS A R Sの影響をまともに受けて大幅に落ち込んだので、今年はその反動もあって、前年を大きく上回る。
		ゴルフ場（従業員）	・2、3か月後の予約が結構入っており、来場者の客層自体も以前と比べて、良い客層、新規客層が多くなっている。
		設計事務所（所長）	・宅地分譲や建売住宅の販売量が増えてきた。
	変わらない	百貨店（営業担当）	・人の動きが少し活発になってきたが、4月からの消費税総額表示が小売業にどのような影響を与えるかが心配である。
		百貨店（営業担当）	・客の購入状況に変化はなく、今後の動向を見極める必要がある。ブランド商品群もブランドによる好不調のばらつきが拡大してきている。
		スーパー（店長）	・特に良くなる条件が見当たらない。必要な物しか買わない傾向が続いていく。
		スーパー（財務担当）	・春商戦に向けて目玉商品もなく、加えて4月からの消費税総額表示が、客に与える影響が心配である。
		衣料品専門店（経営者）	・相変わらず客の慎重な購入態度が続いており、春物の催しに対しても反応が全体的に鈍く、例年に比べても春物の立ち上がりは遅い。
		家電量販店（営業担当）	・売れる商品と売れない商品の差がまだまだ大きく、販売量、来客数の両方を上昇させるところまでには至らない。
		乗用車販売店（従業員）	・全国的に販売台数は伸び悩んでおり、県内も同様である。新型車効果による販売量の増加を望むしかないが、当面、新型車の発売予定はない。
		観光型旅館（経営者）	・四国内で行われているイベントは全国的にみれば、小規模で効果は小さく、3か月程度先で良くなることは期待できない。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況が好転していない。また突然に入ってくる予約もない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・春物の立ち上がりで人出はあるが、なかなか販売に結び付かない。3か月後も来客数、販売数とも伸びない見通しである。	
	スーパー（企画担当）	・4月から価格表示が消費税総額表示に変わるが、商品の割高感が出て客の買い控え等が起こる。	
	スーパー（営業担当）	・B S E、鳥インフルエンザ等食料品の安全面で問題が出ており、客は食料品を買い控えているだけでなく、他の商品についても、必要な物、安全な物、少し割高な物を少量だけ買うという状況にあり、買い控えが発生している。今後更に何が起こるかという不安感があるため、景気は悪くなっていく。	
悪くなる			
	悪くなる		
	悪くなる		
企業 動向 関連	良くなる	通信業（支店長）	・今後、新製品が投入され、需要が喚起される見込みである。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品が少しずつ浸透しているので、良くなっていく。
		電気機械器具製造業（経営者）	・いわゆる勝ち組企業との取引があり、受注量が多くなっている。

		不動産業（経営者）	・景気の良い人と悪い人の格差が非常に大きくなってきているが、賃貸関連、売買関連とも全般的に動きが出てきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	・小型クレーンは、排ガス規制によるトラックの買換え需要により、引き続き堅調に推移する。一方、大・中型クレーンは総需要の水準は低いものの底を打ち、横ばいに推移する見通しである。
		広告代理店（経営者）	・広告拡大のけん引役として長く貢献してきたIT関連も、一時の勢いは既になく、来期予算も減額になりそうである。これに変わる業種も見当たらないため、回復にはまだ少し時間がかかる。
	やや悪くなる	食料品製造業（従業員）	・鳥インフルエンザ、BSE問題により肉の在庫は尽きており、今後政府が中国等の海外商品についてどう対応していくかによって非常に変わってくる。
		建設業（総務担当）	・資材、特に鋼材の値上がり分を受注価格に転嫁できず、収益面で厳しくなる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・派遣の受注者数が前年同月比で顕著に増加している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・新卒求人が落ち着きをみせており、その他の求人も増えてくる期待感がある。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・シンボルタワーのオープンが差し迫っており、現時点では今後の状況がまだ良くみえない。
		職業安定所（職員）	・新規求職者、有効求職者ともに前年比で減少した。しかし、建設業などでは更なるリストラの動きもあり、楽観できる状況ではない。また求人数は若干増加しているが、警備業、窯業、医療等の一部職種に偏ったものとなっており、雇用面での厳しさは変わらない。
	やや悪くなる		
	悪くなる		